岐阜スロバキア友好協会だより

第 3-2 号　2023 年 2 月発行

〒500-8076 岐阜市司町 40 番地 5
（公財）岐阜市国際交流協会内　岐阜スロバキア友好協会事務局
TEL/FAX:058-263-1741　HP:http://gifuslovakia.wp.xdomain.jp/
E-mail:GifuSlovakia@gmail.com

スロバキアに関する映画を上映しました。

令和５年２月の国際交流月間に際し、岐阜市民とスロバキア国民との相互理解を深め、友好関係を構築・発展を目的として、スロバキアに関係がある映画『アウシュヴィッツ・レポート』を２月１８日（土）１８時から、みんなの森　ぎふメディアコスモス　みんなのホールにて上映し、多くの方に映画を鑑賞していただきました。

参加された方から「恐ろしい重い内容が、深く心に沁みました。今の現実を鑑みて、子や孫たちの未来が、どうぞ穏やかで平安でありますようにと祈らずにはいられませんでした。」とのご感想もいただきました。

ロシアがウクライナを侵攻している現在、岐阜スロバキア友好協会として、この侵攻の早い終息と、再びアウシュヴィッツと同じような悲劇が起こらないことを祈るとともに、今後、少しずつではありますがスロバキアとの友好親善に向けた事業を開催してまいります。

『アウシュヴィッツ・レポート』

1942年に、アウシュヴィッツ捕虜収容所に強制収容された二人の若いスロバキア系ユダヤ人は、1944年4月10日に実際に収容所を脱走し、アウシュヴィッツの内情を描いた32 ページにも渡るレポートを完成させた。収容所のレイアウトやガス室の詳細などが書かれたレポートは、非常に説得力のある内容で、このレポートは「ヴルバ＝ヴェッツラー・レポート（通称アウシュヴィッツ・レポート）」として連合軍に報告され、12万人以上のハンガリー系ユダヤ人がアウシュヴィッツに強制移送されるのを免れた。

本作の監督は、スロバキア人のペテル・ベブヤクが務め、第93回アカデミー賞®国際長編映画賞のスロバキア代表に選出された。脱走する二人のスロバキア人は、『オフィーリア 奪われた王国』のノエル・ツツォル、新人のペテル・オンドレイチカが熱演。二人を救済する赤十字職員には『ハムナプトラ』シリーズのジョン・ハナーが好演している。

©D.N.A., s.r.o., Evolution Films, s.r.o., Ostlicht Filmproduktion GmbH, Rozhlas a televízia Slovenska, Česká televise 2021

「スロバキアをもっと知ろう！」を開催しました。

2022 年 2 月 16 日（水）ぎふメディアコスモスにおいて、「スロバキアをもっと知ろう！」を開催しました。今回講師をお願いしたのは、日本スロバキア協会北海道支部代表の橋本ダナ氏。当初は対面での講演を企画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、岐阜県「第 6 波」非常事態宣言が出され、施設の開館時間も 20 時までとなったため、橋本様には北海道の自宅からリモート出演していただきました。また、オンライン視聴を併用し、会場参加者は席の間隔を開けて座っていただくなど、感染対策を徹底した上で実施しました。講演は、「スロバキア文化に焦点を当てて」というテーマで盛りだくさんのお話をお聞きしました。新たな発見もあり大変魅力的な講演でした。施設の閉館時間が迫り質問タイムは無くなりましたが、スロバキアの魅力をたっぷりと知ることができました。

会員募集

設立趣旨

スロバキアとの友好交流の発展に向け、オール岐阜の体制で観光・経済・教育・文化・スポーツなど様々な分野において市民レベルで継続的な取組みを行います。

活動内容

岐阜市民とスロバキア国民との相互理解
岐阜市とスロバキアとの友好交流促進

※会員の方は、
　会員証と友好バッジを贈呈のほか
　会員限定の交流会に参加できます。

年会費

・団体 1 口　　10,000 円
・個人 1 口　　3,000 円

申込書は、協会ホームページからダウンロードすることができます。

編集後記

スロバキアはウクライナの隣国で、ロシア侵攻の影響を受けています。

一日も早くこの状況が解消され、安心して交流できる日が来ることをお祈りしています。